



青森中央学院大学 (青森県)

日本語学習と日本文化・地域交流が体験できる研修プログラム

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

青森中央学院大学は青森市内にあり、時代のニーズを先取りした日本で唯一の「経営法学部」を設置している他、大学院地域マネジメント研究科や地域マネジメント研究所を設置する大学です。

また、2014年には看護学部が開設され、看護師や保健師などの人材育成にも取り組み始めました。

青森中央学院大学は、1998年に開学した当初から、専門的職業人の養成、国際交流、地域貢献を教育および様々な体験プログラムにより実践しています。特に国際交流活動や地域貢献活動を国際交流センター・国際交流課を中心に積極的に行っており、高い評価を得ています。

その他、ラーニングcommonsやアクティブラーニング室、学生ラウンジ、フリースペース等を設置し、学生が学びやすい環境を整えています。



② 国際交流の実績

海外機関との協定校数：46校・1機関
うち大学間交流協定数：26校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数84人、日研生1人
2021年：留学生数93人、日研生1人
2020年：留学生数118人、日研生1人

④ 地域の特徴

青森市は本州最北端の青森県にあり人口約28万人で、コンパクトシティを目指している中核都市です。

青森空港(国内線や韓国仁川・台北との国際線が就航)や「函館ー青森ー東京」間を結ぶ新幹線の新青森駅もあり、アクセスが便利です。

また自然が豊かで四季があり、農林水産業も盛んで、特に「青森のりんご」は世界でも有名です。人々は優しく親切で、物価も非常に安い都市であるため、留学生活がしやすい環境となっています。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

(1) 日本語の学習等

日研生は、経営法学部に所属し、留学生の日本語コースで授業を受けます。日本語コースは、初級から上級までレベル別で編成され、日研生は自分の能力に応じたクラスで学習する方式です。

日本語以外にも経営法学部で開講されている専門科目を受講することができ、研究テーマに応じて経営系や法学系の学習をすることもできます。

また、日本語担当教員が指導教員として指導にあたるため、きめ細かな指導を受けることができます。

(2) 日本文化・体験研修等

年間約50回の国際交流活動・日本文化体験活動・農林水産業体験活動・ホームステイ等のプログラムを用意しており、地域の人々と様々な交流活動を行うことができます。

③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・ J L P T : N2級以上に合格していること。
- ・ 日本語又は英語で会話が可能であること。

⑤ 達成目標

- ・ コース修了者はN1程度のレベルに達すること。
- ・ 文法力、会話表現、言葉遣い、ヒアリング等が適切に使えること。
- ・ 日本語・日本文化研修の結果をまとめ、レポート等にまとめること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2023年9月下旬 ～ 2024年8月下旬
(2023年10月1日 ～ 2024年8月10日)

⑦ 奨学金支給期間

2023年10月 ～ 2024年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日（2022年は9月27日）
10月：開講式、オリエンテーション
11月：青森体験（りんご狩り）
地域交流体験（農家民泊）
12月：交流会（クリスマスパーティー）
4月：青森体験（観桜会）
5月：学生交流会
7月：研究発表
8月：修了式
8月下旬：帰国（2022年は8月30日）



⑨ コースの修了要件

- ・ 日本語必修科目3単位、選択科目6単位を取得すること。
- ・ 指導教員による演習を修了すること。
- ・ 日本文化・青森文化体験や地域交流体験に5回参加すること。
- ・ 必要単位を取得し、体験活動も行い、到達目標に達した場合、修了証書を発行します。
- ・ コース要件を定められた研修期間より早く修了した場合、早期修了が可能です。
- ・ 成績証明書を発行することができます。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

- ・ 日本語の学習等

初級から上級までレベル別で編成され、日研究生は自分の能力に応じたクラスで学習し、読む・書く・話す・聞くの四技能を向上させます。

また、日本語担当教員が指導教員として演習指導にあたり、きめ細かな指導を受けることができます。

- ・ 日本文化・体験研修等

年間約50回の国際交流活動・日本文化体験活動・農林水産業体験活動・ホームステイ等のプログラムを用意しており、地域の人々と様々な交流活動を行うことができます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目（コマ数、時間数）・内容

科目	コマ数 時間数	内容
日本語Ⅲ	60コマ 120時間	N2レベル 文法、読解、作文
日本語Ⅳ	30コマ 60時間	読解、作文、 レポート作成
学術日本語	60コマ 120時間	N1レベル 文法、読解、 レポート作成

II) 選択科目（コマ数、時間数）・内容

科目	コマ数 時間数	内容
暮らしと地域	15コマ 30時間	地域学習
暮らしと経済	15コマ 30時間	地域学習
日本の政治と経済	15コマ 30時間	日本の政治と経済を学ぶ
日本の歴史と文化	15コマ 30時間	日本の歴史と文化を学ぶ
日本の社会	15コマ 30時間	日本の社会を学ぶ

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等に参加出来る科目及びその具体的な内容

インターンシップや地域密着型の課題探求科目があります。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

必修科目の日本語授業では、国際交流学生チューターが会話練習などのパートナーとしてクラスに入り、ともに学びます。

選択科目の「暮らしと地域」と「暮らしと経済」は共修科目です。



⑪ 指導体制

日本語担当教員：田中 真寿美 准教授

日本語教育スタッフ：兒玉 晴代、風晴 彩雅

日本文化・体験研修等担当教職員：

藤巻 啓森 国際交流センター長・教授

三浦 浩 国際交流担当次長

金川 利江子 国際交流課課長

留学生チューター：同国の先輩留学生が日常生活
上の指導・助言等を行います。

国際交流学生チューター：日本人学生との交流や行事等
を通して有意義な留学生活
になるように支援します。



■宿 舎

キャンパス内にある

国際交流会館：一人部屋104室

学術交流会館：一人部屋70室、二人部屋35室

の二つの学生寮に全員、入寮することができます。

寮費は、渡日前に

入寮費：全額免除

寮費：308,000円(2023年10月～2024年8月)

支払方法：外国送金

を前納します。

電気代は日研生負担です。水道代・ガス代・
ネット代はありません。



■修了生へのフォローアップ

修了生にはFacebookなどを利用し、大学の情報を
提供、双方向の交流を継続しています。

また、海外同窓会のメンバーとして、帰国後も
交流を進めています。



■問合せ先

<担当部署>

青森中央学院大学国際交流課

住所：〒0300132

青森県青森市大字横内字神田12番地

TEL：+81-17-728-0131（代表）内線1021、1028

FAX：+81-17-738-8333

Email：international@aomoricgu.ac.jp

<ウェブサイト>

青森中央学院大学：

<https://www.aomoricgu.ac.jp/>

青森中央学院大学国際交流センター

公式 Facebook：

<https://www.facebook.com/acguiec>

公式 You Tube：

<https://www.youtube.com/channel/UCmbBt90406nIqLh35gu6ISg>